

代表者名	中嶋 章	所管部課名	農林水産部 農畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域的かつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】(21年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

主たる業務

1,肉畜のと殺、解体。 2,枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3,食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。 4,前各号に付帯する一切の事業。 5,加工品の製造販売に関する事業。

事業実績

(頭)

事業名等	18年度	19年度	20年度
豚と畜頭数	155,696	150,061	153,765
豚かつ頭数	66,689	64,716	67,656

20年度事業概要及び21年度事業計画・目標

1.平成20年度事業概要

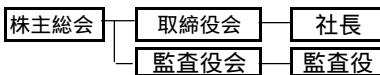
豚と畜153,765頭、牛馬と畜4,517頭、豚かつ67,656頭、牛馬かつ958頭、枝肉・加工品販売高6,841百万円、総売上高7,294百万円

2.平成21年度事業計画

豚と畜156,500頭、牛馬と畜4,200頭、豚かつ68,000頭、牛馬かつ1,000頭、枝肉・加工品販売高6,723百万円、総売上高7,189百万円

【組織】

運営機構



- ・ 検査室
- ・ 総務部
- ・ 事業部
- ・ 加工部
- ・ 製造部

役員数 (H21.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	2	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	8	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者		

職員数 (H21.4.1現在) (人)

正職員	50		
内、県退職者	0		
出向職員	3	平均年齢	正職員
内、県職員	0	42歳	平均勤続年数
臨時・嘱託	6		15年
内、県退職者	0	正職員平均年収	
計	59		4,233千円
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	58歳
平均役員報酬額	5,480千円/年

【財務】

損益状況 (20年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	7,304,779
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	7,266,973
運用益収入	
その他	37,806
経常支出 B	7,266,068
人件費(役員含む)	335,640
その他	6,930,428
経常損益 C = A - B	38,711
経常外収入	0
経常外支出・諸税	25,478
当期損益	13,233

県の損失補償額	県の債務保証額
-	-

財務状況 (20年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	936,208	54.3
固定資産	788,485	45.7
資産計	1,724,693	100.0
流動負債	229,374	13.3
短期借入金	41,484	2.4
固定負債	152,108	8.8
長期借入金	152,108	8.8
引当金等	116,942	6.8
負債計	498,424	28.9
資本金	1,319,700	76.5
剰余金	93,431	5.4
資本計	1,226,269	71.1
負債・資本計	1,724,693	100.0

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	152,302	78,771	100.0%

外部積立(中小企業退職金事業団73,531千円)

【県の財政支出】

(千円)

	18年度	19年度	20年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	18年度	19年度	20年度	18-19増減	19-20増減
健全性	自己資本比率	%	62.02	66.63	71.10	4.61	4.47
	借入金依存率	%	14.29	12.91	11.22	1.38	1.69
	流動比率	%	264.77	322.71	408.16	57.94	85.45
収益性	剰余金(欠損金)	千円	119,437	106,664	93,431	12,773	13,233
	経常利益率	%	0.69	0.41	0.53	0.28	0.12
	総資本利益率	%	2.78	1.71	2.24	1.07	0.54
発展性	経常収入額	千円	7,753,203	7,545,954	7,304,779	207,249	241,175
効率性	総資本回転率		4.01	4.14	4.24	0.14	0.09
	職員1人当たり経常収入	千円	136,021	132,385	125,944	3,636	6,441
	人件費比率	%	4.45	4.63	4.58	0.18	0.05

2 経営目標の達成状況

経営目標			18年度	19年度	20年度	21年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	135,117	100,085	86,000	66,000
		実績	119,437	106,664	93,431	
経営改善指標	借入金残高(千円)	目標	424,800	235,076	193,592	152,108
		実績	276,560	235,076	193,592	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	175,050	175,050	175,050	175,750
		実績	170,774	163,792	167,316	
事業成果指標	カット頭数(豚換算:頭)	目標	90,500	91,500	92,500	92,500
		実績	78,114	74,726	77,237	
	顧客満足度指数	目標	65	80	80	80
		実績	88	89	79	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

1. 課題	事業量の確保、販売先の確保と債権管理
2. 経営目標の達成状況への自己評価	平成12年度から9期連続の単年度黒字が計上でき、当期末欠損金が9千万円までに減少した。借入金については、約定どおり返済が進んでいる。国内景気の低迷と、消費者の消費心理の落ち込みにより、卸価格が下落したほか、燃料・資材費等の増加があり、計画の事業量は達成出来なかったが、経費の圧縮に努め、健全な経営が達成出来た。
<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組> 調査を継続し、消費者ニーズの把握に努める	

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
・と畜、カット頭数等の減少により、売上高は前年度比3%程度減少しているが、販売費・一般管理費の削減により、9期連続の黒字決算となったことは評価される。	・将来的に老朽化設備の改修等が必要とみられるが、資金繰りは安定している。ただし、売上高は直前3期減少傾向にあり、当期純利益は目標額の66%にとどまっている。
・繰越欠損金を早期に解消し、より健全な経営とするためには、事業量の確保並びに費用の一層の削減に向けた努力が望まれる。	